

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成23年11月10日(2011.11.10)

【公表番号】特表2011-513660(P2011-513660A)

【公表日】平成23年4月28日(2011.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-017

【出願番号】特願2010-548050(P2010-548050)

【国際特許分類】

F 1 6 H 57/08 (2006.01)

B 2 1 D 53/28 (2006.01)

【 F I 】

F 1 6 H 57/08

B 2 1 D 53/28

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月21日(2011.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内歯(3)と外歯(6)とを有する部品であって、
前記部品(7)は、内歯(3)を有する本体部(2)と、外歯(6)を有するシート部(5)と、を備えており、
前記シート部(5)は、前記本体部(2)に対して、接線方向にも径方向にも、噛み合い式に結合されており、
前記シート部(5)は、ピックアップ用外形部(6)を有しており、
前記本体部(2)は、少なくとも部分的に、前記ピックアップ用外形部(6)に係合するピックアップ対応歯(4、4a)を有しており、
前記本体部(2)のピックアップ対応歯(4)は、複数の歯(4a)によって形成されており、

当該複数の歯(4a)は、アンダーカット領域(8、9)を有していることを特徴とする部品。

【請求項 2】

前記アンダーカット領域(8、9)は、歯のベース部(4b)に配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の部品。

【請求項 3】

前記ピックアップ用外形部(6)は、複数の歯(4a)の外郭に当接し、アンダーカット領域(8、9)に噛み合い式に入り込むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の部品。

【請求項 4】

前記ピックアップ用外形部(6)は、歯の上部の領域(6c'、6d、6e)において、燕尾形に形成されていることを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載の部品。

【請求項 5】

前記ピックアップ用外形部(6)は、再成形加工(Umformung)によって、アンダーカット領域(8、9)に押し込まれている

ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の部品。

【請求項 6】

前記シート部は、シフト要素のディスクキャリア (5) として形成されている
ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の部品。

【請求項 7】

当該部品は、遊星歯車装置の内ば歯車 (7) として形成されている
ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の部品。

【請求項 8】

前記本体部 (2) は、歯車材料、特に炭化処理可能な材料、から製造可能である
ことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の部品。

【請求項 9】

前記ピックアップ用外形部 (6 、 6 a 、 6 b 、 6 c ') は、略台形状に形成されている
ことを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載の部品。

【請求項 10】

当該部品 (7) は、内ば歯車キャリア (1) を有している
ことを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載の部品。

【請求項 11】

前記内ば歯車キャリア (1) は、シート部材として形成されている
ことを特徴とする請求項 10 に記載の部品。

【請求項 12】

前記内ば歯車キャリア (1) は、リング状のフランジ (1 b) を有しており、
当該フランジ (1 b) は、内ば歯車 (7) すなわち本体部 (2) と、噛み合い式に結合
されている
ことを特徴とする請求項 10 または 11 に記載の部品。

【請求項 13】

本体部 (2) とシート部 (5) とが、最初に分離して製造され、続いて結合される
ことを特徴とする請求項 1 乃至 12 のいずれかに記載の部品 (7) の製造方法。

【請求項 14】

本体部 (2) の製造は、切削加工 (spangebende Herstellung) を含んでいる
ことを特徴とする請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

シート部 (5) の製造、特にピックアップ用外形部 (6) の製造は、再成形加工 (Umformung) によって行われる
ことを特徴とする請求項 13 または 14 に記載の方法。

【請求項 16】

ピックアップ用外形部 (6) の製造において、最初にプレ外形部 (6 c) が生成され、
結合後に最終外形部 (6 c ' 、 6 d 、 6 e) が生成される
ことを特徴とする請求項 13 、 14 または 15 に記載の方法。

【請求項 17】

プレ外形部 (6 c) は、直線状の歯面 (6 b) の間に、凹状の歯上部 (6 c) を有して
いる
ことを特徴とする請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

最終外形部 (6 c ' 、 6 d 、 6 e) は、プレ外形部すなわち凹状の歯上部 (6 c) の引
き延ばしによって、生成される
ことを特徴とする請求項 16 または 17 に記載の方法。